

令和7年度 第2回 大阪市立小路小学校 学校協議会 実施報告書

校 園 名 大阪市立小路小学校

校 園 長 名 湊 健 次

日 時		令和7年11月14日（金） 17：30～18：30	
場 所		小路小学校 校長室	
出席者	委員など	会長、委員（6人）	
	校 園	校長、教頭	
	区役所		
議 題		1. 令和7年度 「運営に関する計画」（中間評価）について 2. 令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果（抜粋） 3. 令和7年度 「児童アンケート」について（抜粋）	
協 議 要 旨		協議の結果	意見の概要（○…委員から ・…学校から）
	1	「運営に関する計画」（中間評価）について 全国学力・学習状況調査の結果について 「児童アンケート」について	○ 子どもは素直で元気なのが一番。学校に登校しているということは、それでいい。「学校が楽しくなかったら」登校しない。 ○ 不登校の児童は、4月の転入生で、前の学校から不登校であった児童が一人いるということだが、毎日遅刻して登校している児童を見かけるが、不登校ぎみなのではないか。 ・ 学校には来ているが、休みがちであったり、遅刻が多い児童がいる。不登校になる可能性があるので、対策している。家庭に問題があり、区役所のサポートネットの方に、1学期は毎日迎えに行ってもらい、寝ているのを起こして、学校まで連れてきてもらっていた。今は、サポートなしで登校できるようになっている。遅刻はよくするが、電話を入れたら、母親が寝ている子を起こして、登校させるようになった。 ○働き方改革は、大変ではないか。仕事量はそんなに変わらない。早く帰るには、家に持ち帰って仕事をしている先生もいるのではないか。 ○先生がしなくてもよい仕事は他に任せるとは、どのようにしているのか。 ・ ICT 機器を使って、仕事を効率的に行うことに取り組んでいるが、それだけでは仕事量は減らない。大阪市ではスクールサポートスタッフやワークバランス支援員や教頭補助員という職種があり、電話対応やプリント印刷、プリント配布準備、書類整理などの仕事をしている。少し負担の軽減にはなっている。 ○外国籍の児童が増えていると聞く。地域の方でも、外国籍の大人のさまざまな行動に困っている。言葉が通じなかったり、言葉が通じて、わからないふりをしたりする。 ・ この夏休みに7名の外国籍の児童が本校に加わった。大阪市
	2		

		<p>全体でも、来日した外国籍の児童が爆発的に増えている。来日して、最初はプレクラスに行って、その後日本語指導センター校へ行くのが普通だったが、今はすぐに行くことができない。教室で、学級担任が困っている。</p> <p>○ 地域の親子イベントの案内の英語ポスターを作ったところ、外国人の親子が来た。必要なことかなと思う。</p> <p>○ 中学校にもたくさんの来日生徒がいる。中国やベトナムからの生徒が多く、同じ国の生徒が固まって話をしたりしている。日本の生徒とは話さず、自分たちでコミュニティを作っている。保護者も、同じ国の人たちで固まり、日本語を使う必要のない生活をしており、日本語を覚えない。</p>
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度 「運営に関する計画」（中間評価） ・令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果（抜粋） ・令和7年度 「児童アンケート」について（抜粋） 	
備考	傍聴者[0]名 <hr/>	